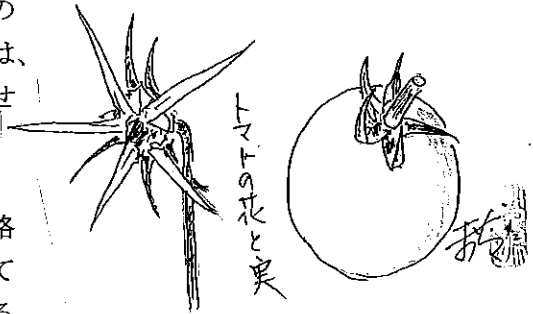


新たな始まり

市中総体球技・武道大会が終了しました。県大会への出場を決めた女子ソフトテニス部と卓球部・上田楓君は、今日から早速、県大会への準備を始めなければなりません。惜しくも敗退した多くのチームは3年生が引退し、新チームでの練習が始まります。(陸上部においては、24日が本番です。)引退した3年生は、今日から本格的に受験勉強を始めなければなりません。いずれにしても、殆どの生徒が新たな目標へ向かってスタートをきる日であります。



以前も話題に上げましたが、『天目地足』これがキーワードになるかと思えます。「まず、高い目標をもつこと。その実現のため、地に足をつけてしっかり努力すること。」これが結果を出す秘訣です。よく言われますが『苦あれば楽あり』なのです。きつい練習や学習への取組、継続した努力があってこそ、自信や結果につながりますし、何より努力が報われときの喜びも倍増します。決して『楽あれば苦あり』になってはいけません。さあ、今日から新たな始まりです。『はじめの一步』が大事です。自分のため、周りのため、しっかり踏み出してほしいと思います。

今度は期末・・・



1学期は行事続き。まず、体育大会に始まって、次に中総体、7月に入ると平和学習(平和集会に向けての準備)。本当に息をつく暇がありません。“その合間をぬって学力テストや期末テストが実施される。”その感がぬぐえません。しかし、生徒の本分は勉強。“テストの合間を縫って行事が行われている。”が本当なの

かもしれません。ちなみに期末テストは今月29日(火)、30日(水)に実施します。テストまで2週間を切りました。学年最初の定期テストです。納得いく結果が出せるよう、今から準備を行って欲しいと思います。

当然、勉強も行事も人間性を育成するために欠かせないもの。この2つは両輪であることは間違いありません。しかし、得てして部活や行事には燃えるけど、学習は・・・という生徒が少なくありません。そこに違いがでるのは何か。一番の違いは「好きか嫌いか。」「面白いか面白くないか。」ではないかと思えます。「勉強は好きではない。面白くない。」それが一番の原因です。では、どうすればよいのか。理屈は簡単。「勉強が好き。面白い。」となればよいのです。昔から「好きこそ物の上手なれ!」と言いますが、全くその通りなのです。しかし、理屈通りにならないのが現実。その解決の糸口が「読む力」にあると思えます。本や新聞等を読む習慣をつけることで、読解力が高まり、興味や関心が広がり、少なくとも「勉強が面白い」と思えるようになります。まずは「読む力」をつけることで、学力向上に繋げてほしいと思います。